

作業前の注意

- ・ 必ずウマ等を使用し、安全な状態で作業を行ってください。

準備

キャリパーを外します。



今回は、ロングハブボルトに交換したかったのと、バックプレートを外したかったので、ハブをプレスで抜きました。ワイドレッドスペーサーを使用したり、うまくかわせるホイールがあったり、なおかつ、バックプレートのVITZローターが接触する部分のみを切断すれば、この作業は不要です。



バックプレートは、はまっているだけなので、バールで外しました。



ブレンボキャリパーを取り付けるにあたり、ホイールが16インチ以上・7J以上、でないとキャリパーが接触してしまいます。15インチのRAYSのTE37でも、ギリギリでダメでした。ホイールを選ぶ為に、スペーサーで細かく調整することができるようにロングハブボルトに打ち替えました。



普通は、ここで新品のベアリングに交換したいところですが、今回は、そのままプレスで合体させました。



出来上がったハブを、車体に取り付けます。



ブラケットの取り付け

続いて、ブラケットを取り付けます。



VITZ RSのローターを取り付けます。



ブレンボキャリパーを取り付けます。



↓裏から見た画像です。



キャリパーの個体差によっては、下記画像の赤マル部分をサンダーで削る必要があります。
そうしないと、プレンボキャリパーが干渉して取り付けできません。
今回のコベンは、右側は削る必要がありましたが、左側は不要でした。



ブレーキホースは、コベン純正品をそのまま使用できます。
十分にエア抜きをして、作業終了です。

